

報道関係各位

Space BD 山形大学「ベニバナ・サット」プロジェクトの支援事業を受託 “技術伴走”と“人材育成プログラム”で実現する、持続可能な宇宙産業の土壌づくり

宇宙産業における総合的なサービスを展開するSpace BD株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:永崎将利、以下「Space BD」)は、国立大学法人 山形大学(所在地:山形県山形市、学長:玉手英利、以下「山形大学」)と「超小型人工衛星(ベニバナ・サット)プロジェクト支援業務(令和7年度)」の契約を締結いたしました。

Space BDは、衛星開発の技術的な支援を行う伴走型コンサルティングとともに、宇宙開発に初めて参入する組織が将来的に衛星開発を自走できるよう設計された新教育プログラム「HURDLES(ハードルズ)」を初提供します。



■「ベニバナ・サット」プロジェクトについて

「ベニバナ・サット」プロジェクト(BSP)は、(一財)森の学校の寄附により運営される山形大学「ソーシャル・イノベーションDX寄附講座」の産業創出の取り組みとして推進する、超小型人工衛星の開発・製造・運用プロジェクトです。同プロジェクトは、「山形の産業へ、山形に人材を、山形を元気に」を掲げ、山形の産業振興・人材定着・地域活性化を目的としており、2028年度(令和10年度)までに開発と打上げの完遂を目指すものです。

■ Space BDが本プロジェクトに参画する意義:宇宙参入の“見えない壁”を取り払う

近年、地方創生や新産業創出を目指し、自治体や大学による超小型衛星開発への注目が高まっています。一方で、新規参入を目指す多くの組織にとっては、「専門知識の不足」や「開発プロセスの不透明さ」、そして「人材育成のノウハウをどう構築していくか」が大きな障壁となっています。そのため、プロジェクト単位の技術支援ではなく、プロジェクト終了後も大学や地域でノウハウが継承さ

れ、自律的に宇宙開発を継続するための宇宙機器開発の技術基盤を築くことが必要とされています。Space BDは、こうした課題に応えるため、本プロジェクトに参画いたします。

■ Space BDの役割

本プロジェクトにおいて、Space BDは衛星開発の初期段階から伴走し、以下の支援を行います。

① 衛星開発および審査プロセスの実践支援(技術伴走型コンサルティング)

山形大学が主導する衛星設計・開発において、Space BDは概念設計や試験、官辺手続きへの適切な助言・支援を行うことで、開発ロードマップの策定と確実な実行を後押しします。あわせて、打上げ枠の調査から手配までを担い、大学側が迷いなく開発に専念できる環境をワンストップで提供します。

② 「HURDLES」による宇宙産業人材の育成(衛星開発教育プログラムの提供)

内閣府の定める宇宙スキル標準等に準拠し、未経験者が衛星開発プロジェクトを推進するために必要な知識・スキルを体系的に習得できるプログラムである「HURDLES」を初提供します。ワークショップや研修を通じ、産学が一体となり開発に取り組める「技術と人材のハブ」を構築します。

Space BDは単なる衛星開発支援にとどまらず、「衛星を作れる組織と人」を育て、持続的に山形県内に宇宙産業活動が根付くことを目指します。

加えて、本取り組みをモデルケースとし、宇宙産業に新規参入を目指す全国の自治体・教育機関・企業に向けて、開発伴走と人材育成をセットにした支援の拡大を目指します。

■ 代表者コメント

国立大学法人 山形大学 亀井 信一教授 コメント

2024年度に山形大学米沢キャンパスに開設した(一財)森の学校の寄附により運営される寄附講座「ソーシャル・イノベーションDX」では、社会実装を前提としたものづくりの人材を育成することを目的とした活動を行っています。その一環として、超小型の人工衛星「ベニバナ・サット」プロジェクトを立ち上げました。ここでは、学生はもちろんのこと地元企業との積極的な共創を図り、人材や技術のハブ(結節点)を創ることで、山形の地で持続的な人材育成や小型衛星産業などの新たな産業展開の場とすることも意図しています。しかしながら、5年間という極めて短い寄附講座の設置期間内に、一定のミッションを終えなければなりません。この度、この分野で実績が豊富なSpace BD株式会社と支援業務の契約を締結しました。これにより、円滑にプロジェクトが遂行され、山形県に人材と産業が定着できることを大いに期待しています。

Space BD株式会社 ローンチサービス事業ユニット 北山 智大 コメント

「衛星を作って打上げたい」という強い想いを持ちながらも、実現までの道のりが見えず、高いハードルを感じてしまうケースは少なくありません。本プロジェクトは、そうした“見えない壁”に対し、構想段階から打上げまで確かなロードマップを描き、実行をご支援する取り組みです。「ベニバナ・サット」プロジェクトの挑戦を成功に導くことはもちろん、このモデルケースを通じて、宇宙への新規参入を目指す全ての皆様が、迷いなくその第一歩を踏み出せるようなソリューションを提供してまいります。

Space BD株式会社 教育事業ユニット 前田 光佑 コメント

産業が生み出されるまさにそのフェーズにおいて、時代によらず重要なファクターの一つが“人材の育成・輩出”だと考えています。本プロジェクトは超小型衛星の開発を軸足とし、山形から産業を生み出し、その産業に係わる人と地域を創る、大変に挑戦的で刺激的な取り組みです。私たちは本プロジェクトがより持続的な発展を遂げられるよう、事業の垣根を越えた支援を通じて、これまで以上に強力なワンストップ支援を実現してまいります。

■ Space BD株式会社について

Space BDは、日本の宇宙ビジネスを、世界を代表する産業に発展させることを目指す「宇宙商社®」です。2017年の創業以来、宇宙への豊富な輸送手段の提供とともに国際宇宙ステーション(ISS)をはじめとする宇宙空間の利活用において、ビジネスプランの検討からエンジニアリング部門による技術的な運用支援までをワンストップで提供しています。技術力に立脚した営業力・事業開発力を礎に、多様なキャリアバックグラウンドを持ったメンバーが、宇宙を活用した官民の事業化支援・事業変革、教育分野などに事業を展開しています。

2025年10月現在、衛星取扱い数100件超に加え、600を超える宇宙空間での実験実績を重ねています。

社 名: Space BD株式会社

本 社: 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 日本橋三井タワー7階

代 表 者: 代表取締役社長 永崎将利

設 立: 2017年9月1日

事業内容: 宇宙における各種サービス事業・教育事業

U R L: <https://space-bd.com/>

<お問い合わせ>

Space BD株式会社 広報担当 宮森・福田

Mail: pr@space-bd.com Tel: 03-6264-7177